

旧山村家住宅

旧山村家住宅は、本町筋通りに面し、母屋 2 棟、蔵 2 棟、小茶室からなる。家屋と蔵のうち 1 棟は江戸時代（1603～1867）後期のものである。山村家は、浜崎港を中心に栄えた地域のエリートであった。

一家は明治（1868～1912）初期に住宅を購入し、財産が増えるにつれ、蔵と茶室別館を増設した。2005 年には萩市に寄贈された。正面の店舗、背面の店舗、居住棟は、「玄関庭」で仕切られている。これは、明治時代に流行した「母屋造り」と呼ばれる建築様式を踏襲したもので、現在では京都や大阪に多く見られる。建築当時は、町家住宅の最高峰と言われていた。

旧山村家住宅は、関西以西に現存するこの様式の唯一の例である。萩の商人や職人がこのような建物を建てたという事実は、彼らの豊かさと洗練さを物語っている。

住所：山口県萩市浜崎 77

電話番号：0838-22-0133

営業時間：午前 9 時から午後 5 時

入場無料

アクセス：「大船倉入口」バス停から徒歩 3 分（萩循環まあるバス東回り）

Google マップのリンクは[こちら](#)